

古賀神社に新たなスポット! 4つの縁結びが新たに誕生!

古賀神社は、昭和27年2月17日に4つの神社(浦口神社・花鶴皇石神社・貴布祢神社・日吉神社)が合祀されたもので、6つの神様をお祀りしています。

江戸中期に作られたハートの手水鉢など、縁(えにし)を大切にしている神社です。

この度、参拝者の様々な縁がさらに深くなるようにお手伝いが出来ればと想い、市内の企業などの協力のもと、新たに4つの縁結びスポットを作成しました。

■概要

以下の新たな4つの縁結びに携わった人たちの活躍と、参拝者の祈願成就を祈念して、古賀神社の木梨宮司がお祓いをします。(拝殿でお祓いの後、境内でお披露目)

日時：9月11日(土) 午前10時から

場所：古賀神社(古賀市駅東2丁目2-1)

参加者：古賀市長 田辺一城、株式会社ナダヨシ 代表取締役 植木剛彦様
株式会社三輪工務店 専務取締役 三輪哲夫様 ほか

■4つの縁結び

1. ハートの絵馬「縁(えにし)絵馬」

皆さんのそれぞれのご縁や願いが結ばれるように、ハートの形にしました。



2. ハートの絵馬掛処「ご縁結び処」

皆さんの思いが叶うように、願いが書かれた絵馬をハートの絵馬掛へ奉納します。



3. 「ハートの御守り」

皆さんの想いが届くよう、ハート形の陶器に、あらゆる力が宿るとされる水晶を模した玉と、邪なるものを祓う力があるとされる鈴を付けたものです。

陶器の部分は古賀市の「やよい窯」さん、ストラップ部分は新宮町のアーティストの、富永さんに心を込めて作っていただいたオリジナルの御守りです。

4. 「おみくじ掛処」

古賀神社にある現在のおみくじ掛を“いろいろな縁がさらに深まりますように”との想いを込め「赤い糸を連想させる」おみくじ掛処に新しくします。

■参考（運気があがる3つのスポット）

・縁結びの「ハートの手水鉢」

天明の飢饉後の天明9年(1789年)に、これ以上飢餓が起きないように、神聖な葵の葉をかたどり、思いを込めて作られた。周りは、子宝・安産・豊作・病気平癒などの信仰を示すとされる盃状穴（はいじょうけつ）と呼ばれる小さな穴が120箇所彫られています。



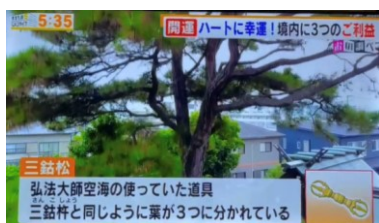
・災難が去る「強運の猿の木」

平成14年4月9日未明、不審火で古賀神社は焼失しました。この木はそのときの火災で傷を負いながらも生き残った強運の猿に似た木です。災難が去る「強運の猿の木」「幸運の木」として祀っています。



・金運アップの「三葉の松」

弘法大師空海が、唐からの帰国前、どこに道場を開くか祈りを込めて日本に向けて法具の三鈷杵(さんこしょう)を投げたところ、高野山の松(3本松)に引っかかっていた。松の葉は2本か5本ですが、この木も三鈷杵と同じく3本葉であることから、身に着けると幸せになると言われています。



※画像はTNC ももち浜ストア特報ライブより

【問い合わせ先】

古賀神社総代会長 船越章一
電話：090-9724-6355